

令和元年6月

各 位

四国紙パルプ研究協議会
(一財)四国産業・技術振興センター
(公社)愛媛県紙パルプ工業会

四国紙パルプ研究協議会令和元年度第1回講演会のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、下記要領にて、四国紙パルプ研究協議会の令和元年度第1回講演会を下記のとおり開催いたしますので、ご多忙中とは存じますが、多数ご出席下さいますよう、ご案内申し上げます。

敬具

記

日 時 令和元年6月18日(火) 14:50~17:05
会 場 愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター 研究交流棟2階 研修室
愛媛県四国中央市妻鳥町乙127 TEL 0896-58-2144

【講演会】

開会挨拶 (14:50~14:55)

講演Ⅰ『セルロース系ジブロックコポリマーの精密合成と構造-物性相関』 (14:55~15:55)
京都大学大学院 農学研究科 上高原 浩 氏

木材成分の40%ほどを占めるセルロースはその誘導体として広く社会で利用されている。しかしながら、セルロースという天然物を工業的に反応させているため、構造-物性相関に関する基礎的な知見が不足している場合も多い。我々はこれまでに培ってきたセルロースの反応性に関する知見を駆使し、セルロース系ジブロックコポリマー・コオリゴマーの合成法を確立してきた。本講演では代表的なセルロースエーテルの一つであるメチルセルロースを例に、グリコシル化反応、グルコース誘導体の開環重合法、位置選択的な置換基導入法、Huisgen 環化付加反応、多糖分子末端の機能化反応などの様々な合成法、精密な分子設計に基づく物性の制御、分子集合体の構造について概説する。

講演Ⅱ『酸化チタン微粒子をガラス繊維へ担持する手法の開発』 (16:00~17:00)

愛媛大学 社会連携推進機構 紙産業イノベーションセンター 福垣内 暁 氏

光触媒として広く認知されている酸化チタンは通常粉末の状態でも市販されている。例えば廃水浄化などの水系に酸化チタンを適用する場合、粉末では反応後の回収が困難である。加えて、大気中の有害ガス除去などの気相系に酸化チタンを適用する場合においても粉末状では扱いが非常に困難である。従って、酸化チタン粉末を繊維やシート状などの扱いやすい形態に加工することが求められている。ガラス繊維は化学的に安定で入手が容易であるので酸化チタンの担体としては適していると考えられる。本講演ではガラス繊維に酸化チタン微粒子を担持する手法について紹介する。

閉会挨拶 (17:00~17:05)

(公社)愛媛県紙パルプ工業会事務局行

FAX : 0896-58-6240

事業所名

No.	所属・役職	氏 名	紙産業技術センター		四国紙パルプ研 第1回講演会
			展示会	講習会	
1					
2					
3					

本年度も、別紙の通り、紙産業技術センターの研究発表会及び普及講習会と併せて開催いたしますので、申込用紙に出席の場合は○印をご記入下さい。

申込締切日 6月14日(金)